

職場の残業を 改善するためには

長野県長野工業高等学校 建築学科

・ 酒井皐希 ・ 池田優輝

テーマ設定の理由

- ・ S D G s の目標で、目標 8 の 5 項目目にある「人間らしい仕事」とは何か知りたかったため、これに関連づけてテーマを作りました。
- ・ 日本での残業時間が減らない理由と、過労死が多いと思ったため。

定義

・残業とは労働基準法等において、法定労働時間を超える労働のことを言う。長時間労働は、健康の確保だけでなく、仕事と家庭生活との両方を困難にし、少子化の原因や、女性のキャリア形成や、男性の家庭参加を阻む原因となっている。

現状

週の労働時間が60時間以上の者の割合は、全体では近年低下傾向で推移し、1割弱となっているが、30代男性では16.0%と、以前より低下したものの高水準で推移している。

	平成16年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
週60時間以上の者	639万人	490万人	474万人	464万人	450万人
	12.2%	9.1%	8.8%	8.5%	8.2%
週35時間以上 週60時間未満の者	3354万人	3412万人	3327万人	3284万人	3358万人
	64.0%	63.7%	61.6%	60.5%	61.3%
週35時間未満の者	1237万人	1436万人	1568万人	1651万人	1634万人
	23.6%	26.8%	29.0%	30.4%	29.9%
合計	5243万人	5359万人	5399万人	5432万人	5474万人

30代男性で週労働時間60時間以上の者

	平成16年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
30代男性で週60 時間以上の者	200万人	144万人	135万人 (124万人)	126万人 (115万人)	115万人 (105万人)
	23.8%	18.2%	17.6% (17.2%)	17.0% (16.5)%	16.0% (15.6)%

・ 1日の所定労働時間は1企業平均7時間46分、労働者1人平均7時間45分となっています。週所定労働時間は12企業平均39時間26分、労働者1人平均39時間03分となっています。

「厚生労働省我が国における時間外労働の現状」

問題点

- ・ 休憩時間も仕事をしてしまい、精神的に苦痛を感じてしまう。
- ・ ワークライフバランスをとれず、マネジメント放棄となってしまう。

課題

- ・ 全ての企業の時間外労働の是正
- ・ 仕事量の減少

SDGs目標のための10代からの提言

- ・ 残業によって、人の命を失ってしまうことがあるので、残業をなくし、社内の環境を良くする。

考察・感想

- ・日本全体の企業は平均で労働時間が徐々に減っているように考えられます。しかし、企業すべてとまではいけないので、残りの企業が気持ちの良い仕事ができるように残業を改善していくべきだと思います。